

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 中田

山名	剣山・次郎炭・丸笹山（徳島県）	山行名	例会
ルート	見ノ越登山口→リフト西島駅→大剣神社→山頂ヒュッテ→剣山→ジロウキュウ峠→次郎炭→山頂ヒュッテ（泊）→見ノ越登山口→ヲ・フォーレつるぎ→登山口→丸笹山頂→登山口		
山行日	2025年11月22日～11月23日	天候	晴れ
参加者	リーダー： 中田 男性：中田、宮内、永井 女性：岡本、尾松、田中（深）、山内、阪本、藤田、米田、山本、高山、伊藤、大西 合計： 14名	サブリーダー： 宮内	

剣山の主要な 登山コース



コースタイム

地名		時:分	地名		時:分
見ノ越 登山口	集	11:56	ジロウキュウ峠	着	15:09
	発	12:06		発	15:11
リフト 西島駅	着	13:10	次郎炭	着	15:33
	発	13:19		発	15:42
大剣神社	着	13:40	剣山頂 ヒュッテ泊	着	16:46
	発	13:48		発	6:53
剣山頂 ヒュッテ	着	14:01	丸笹山	着	9:37
	発	14:31		発	9:53
剣山	着	14:35	ヲ・フォーレ 登山口	着	10:37
	発	14:46		発	

山行報告

四国で一番奥深い山で、西日本第二の高峰「剣山 1955m」、頂上台地の広大な笹原と展望に行きたいと願い、剣岳と同じ剣山の名前が似ている所も気になっていました。3連休の初日で駐車場が確保できてホッと出来た。2日前に初冠雪のニュースがあり登山道の日陰には雪跡があり斜面は凍結していて滑りそうです。剣山の由来とされる大剣岩をご神体とする大剣神社で山行の安全をお祈りして、頂上ヒュッテの横の階段を上って見れば平家の馬場と呼ばれる頂上台地が現れた。予想通りの展望がひらけて見渡す限り一面の笹原が素晴らしい！日没時間 16:57

今回の目的は南西方の次郎炭に登ることです。往復 2 時間の猶予しかなく 14:46 からスタートをしました。秋晴れの素晴らしい景色をゆっくり堪能している時間を惜しんで、長い稜線が目の前に広がっています。残念ながら5名が途中で断念しましたが、9名が急登を登りきり次郎炭の山頂にたどり着いた。鑑賞に浸る暇もなくヒュッテを目指して帰りました。Nさんが体調不良で休憩しているのを励まして剣山頂ヒュッテ小屋に帰った時は日没直前でした。山頂ヒュッテは翌日が今期最終営業日で、70周年記念品が頂けることになった。小屋の中は電気が充分に使え、こたつが設えてあり快適な部屋に感激した。翌日早朝は皆さんでご来光を拝み下山した。2日目は北東方にある花の山：四国百名山「丸笹山 1711m」が近くにあるので登ることにした。比較的緩やかな登山道に緊張した様子もなく、山頂からは360度の展望があり秋空の中景色をゆっくり堪能できました。

ヒヤリハット なし



感想文

昨年の石鎚山に次ぐ四国第二弾の行ってみたい剣山でした。積雪の心配もしましたが絶好の登山日和。しかも山小屋最終日(年末年始除く)。山までの道中も車から見える紅葉した錦織の山々に何回綺麗と言った事でしょう。登山中は暑いし寒いしの繰り返しで夏だったらもっときつかったと思いました。剣山に到着後日没の時間もあり大急ぎで次郎笈へのピストン。アップダウンが激しくへとへとになりました。帰りは温泉に買い物にと楽しい時間を過ごしました。また来たいなあーとみんなで言ってました。皆さんお疲れ様でした。有り難う御座いました。色々な事が次々に起こって記憶に残る山行でもありました。

尾松

剣山山行案内を知り、行ってみたい思いと、今年入会したので知らない方々の中での1泊が不安という想いで迷いましたが、やはりこの機会を逃したくないと参加を決めました。

当日は天候に恵まれ、また整備の行き届いた山道のため特に不安なく登ることができました。剣山頂上ヒュッテでは、夕食朝食で手作りの美味しい郷土料理が並び、特にアマゴの唐揚げは頭から尻尾まで大変美味しく頂くことができました。満天の星空を堪能した後は心地よい疲労感で21時の消灯を待たず、暖かい布団で起床の5時まで熟睡することができました。また翌朝の日の出は美しいブルーアワーと想像していたよりも力強い曙色で、生命の誕生を感じたり、自分は生かされているという思いを改めて持ちました。

下山途中では、僅かに雪や氷の山道がみられましたがその都度リーダーがアドバイスをくださったので安心して進むことができました。おかげ様で予定通り剣山・次郎笈・丸笠山に登ることができました。最後になりましたが山友会の皆様、多くの学びとお気遣いをありがとうございました。また、お疲れのところ車を運転してくださり感謝しています。今後もご教示よろしくお願ひいたします。

大西

「日本百名山」の剣山は以前から行ってみたいと思っていた山でした。剣山山頂ヒュッテに泊まれば日の出・日の入・瀬戸内の夜景満天の星空が展望できると聞いていました。うわさ通り私達の泊まった日は天候に恵まれ満天の星空を仰ぐ事ができ、翌朝の日の出前の太陽が造る一直線のラインなんと美しい景色なんだと感動しました。山頂から隣の次郎笈へは笹原が続いて一筋の道が見えており歩いてみたい衝動にかられますか、なかなかのアップダウンがあり途中でゆっくり引き返しましたが、次回次郎笈へゆっくり山行してみたいとの思いを残す山行でした。

